

第16回 国立市これからの公共施設の在り方審議会 議事要旨(記録)

| | |
|----------------|--|
| 日時 | 令和2年7月28日(火)19:00~21:00 |
| 場所 | 国立市役所2階 委員会室 |
| 出席委員 (五十音順) | (会長) 山重 慎二 委員 佐々木 陽一 委員、杉野 聖子 委員、山口 茂 委員、米川 覚 委員 十松 扶美子 委員、中原 修 委員、土屋 邦美 委員、塚田 好彦 委員 |
| 欠席 | 三田 友一 委員 |
| 説明員・ 事務局 | 宮崎政策経営部長、古川資産活用担当課長、小宮資産活用担当係長 |
| 傍聴者 | なし |

○議事

- (議題1) 『(仮称)国立市公共施設再編計画(案)』【素案】について
- (議題2) 市民意見募集(パブリックコメント形式)の実施について

○配付資料

- 資料 No.16-1. 『(仮称)国立市公共施設再編計画(案)』【審議会素案】
 - 資料 No.16-2. 市民意見募集の実施について(案)
- 第15回審議会 議事要旨

1. (議題1) 『(仮称) 国立市公共施設再編計画(案)』【素案】について

○事務局より『(仮称) 国立市公共施設再編計画(案)』【素案】について、前回「たたき台」からの変更点について説明を行った。(資料 No16-1)

□山重会長

・p.26 の〈コラム〉はIV章後半部分に掲載したほうが良い。

□十松委員

・p.18 で「重要となる考え方の一つは、公共サービスとそれを提供する施設を切り離して考えることで、公共サービスを少ない費用で効率的に提供することが可能になる」とあり、その例として住民票などのコンビニ交付が挙げられているが、市役所交付よりも安く済むのか。

□事務局

・現在のコンビニ発行枚数を考えると、必ずしもそうであるとは言えないかもしれない。しかし、インターネット環境や生活様式が変わってきているなかで、今後、対面型の行政窓口ではなく、非対面型での発行が増加する可能性も考えられ、市役所など発行施設の維持管理費や建設コスト、人件費などトータル的に考えれば記述のようなことが言えると思う。

□山重会長

・コンビニ発行する枚数が少なければ、少ないほど委託費は高くなる。コンビニで発行できることが認知されて、市施設以外での発行が多くなれば少ない費用で行えると思われる。

□土屋委員

・語尾が統一されていない印象を受けた。「である調」が一部含まれている。

□山重会長

・全体的なバランスから「ですます調」で統一しても良いかと思う。

□事務局

・全体的に「ですます調」の表現に統一して、見直しを行う。

□土屋委員

・p.4 の本文で「延床面積を 50 年間で 19.3%縮減し、年当たりのコスト 10.31 億円縮減する」と書かれているが、この数値根拠が分かり難い。p.2 で3つの目標値が出されているが、この数値からでは読み取れない。

□事務局

- ・総合管理計画p.54で示した、延床面積を減らすことで縮減が図れる建設コスト9.14億円と、管理運営費1.17億円の合計値である。建物に掛かるハードとソフトの両面で縮減できる金額の合計額として10.31億円という考え方になる。

□山重会長

- ・市民の方が読んで、総合管理計画を見返さなくても分かるように表記を検討したほうが良い。

□土屋委員

- ・p18の中段で「…民間が対話しながら作り上げていくことが、地域特性…」とあるが、「こと」がその後の文章からは読み取れない。後文の表現を再度検討したほうが良い。

□山口委員

- ・西暦と和暦が併記されているが、2019年度については平成31年度と令和元年度を両方とも示さなければならないのではないかと。平成31年度表記が見当たらない。

□事務局

- ・庁内統一的に2019年度は令和元年度として表記するようにしている。

□塚田委員

- ・年次の表記が多くあるが、誤植が一部見受けられる。再度全体的なチェックが必要である。

□十松委員

- ・p.35、36の表で、○印が無いものは市所有のものであるという読み方で良いか。

□事務局

- ・その通りである。

□山重会長

- ・○印について、欄外に説明文を表記する対応としたい。

□土屋委員

- ・p.51の東圏域を例にするが、地図に表記されていない施設や道路名称が本文に出てくる。分からない人もいると思うので、地図上に表現できないか。

□山重会長

- ・土屋委員の意見も理解できるが、情報が多くなりすぎて地図が見難くなってしまう恐れがある。メリット・デメリットがあると思うが、分かりやすい対応ができるか悩ましい。

□十松委員

- ・地図含め、図が明確になってきたところで、見難くならないか心配である。

□山重会長

- ・地図の作図を事務局にお願いしているところだが、追加で情報を入れ込むことは可能か。

□事務局

- ・圏域によって表記されている情報量に差があり、矢川圏域のように既に多くの情報量がある地図については表記方法によっては加えることが難しく思えるところもある。本文を読み返しながら、なるべく表記できるように対応を検討する。

□山重会長

- ・「はじめに」を書かせていただいた。現在は長い形になっているが、最終的には会長としてのコメントと本編の「はじめに」に分けて書きたいと考えている。(意見募集に際し)市民の方に読んでいただくことを踏まえて、ここについて意見を頂きたい。

□佐々木委員

- ・違和感なく、全体を表現している良い内容だと思う。
- ・他の部分になるが2点、気のなる内容について挙げさせていただきたい。
1点目は、アクションプランの重複である。圏域のページと施設類型ごとのページ、両方に第1期・2期のアクションプランが掲載されていて、同じ表が2つある状況になっている。市民の方は、自分の身近にある施設がどうなるかに対する関心が強いと思われるので、1つの考え方として圏域別の方に掲載することとして、施設類型には掲載しないという考え方もできる。
2つあると違う内容かと勘違いされ、市民の方が混乱してしまう可能性もあるので、施設類型のページにはアクションプランを掲載せず、方向性をしっかりと書き込むという考え方もあるように思う。
もう1点は谷保圏域における考え方である。
谷保地域では宅地開発が行われ、住宅が増えている状況がある一方、水害ハザードマップでは浸水想定地域が広がっている。その様な地域における市の対策について、どの様に考えているのか気になる部分ではある。水害対策と公共施設整備、それに加えて宅地開発の在り方について総合的に検討していく考え方が現代に求められるものであるとも考える。

□山重会長

- ・浸水想定地域に公共施設を整備していくことについては丁寧な議論と検討、対応が必要であると思う。宅地開発の結果、市民が増えて公共施設が必要になるという考えもできるが、本審議会では、宅地開発まで踏み込んだ議論は出来ないと思う。
- この地域のように水害の恐れがある地域における検討が何かされているようであれば、事務局から話をさせていただきたい。

□事務局

- ・これまでは地震を中心とした災害対策の面が強かったが、現在は豪雨など水害も考慮した災害対策となっている。地震時と水害時では対応が大きく変わるという認識の下、公共施設についても対応していかなければならないと考えている。ただ、新たな施設を検討する際に、このような場所を除外して検討するという考えは、難しいところである。
- ・p.72 の本文に「浸水想定地域に2つの施設があることを考慮した検討が必要」という、現時点で考慮すべき点として記述を入れても良いかと思うがどうか。

□米川委員

- ・この地域にある施設が建てられた当時はハザードマップが無かったと記憶している。この地域にとって現在ある施設は非常に重要であると思われるので、施設を無くすという事は出来ないのではないか。

□山重会長

- ・ハザードマップが重視されるようになったのが最近であるが、やはり水害対策に関しては今後、考慮していかなければならないと思う。将来的な視点からも、記述を加える形で考えたい。
- ・アクションプランの記載についても重複しないよう、整理する形でまとめていきたいと思う。

□事務局

- ・整理する形で改編していきたいと思うが、各施設を一覧にまとめた表の取り扱いをどうするか、ご意見を頂きたい。

□塚田委員

- ・各施設を一覧にまとめた計画表については、全体的な計画が把握できることと、時期の重なりが確認できるのであった方が良い。
- ・施設類型ごとのマネジメントの方向性について、もう少し記述することが出来ないかと思う。財政が厳しくなっていく中で、見直すべきものは見直すという考え方で示していく必要があるかと思う。身近な施設が廃止や縮小となると様々な意見があると思うが、その様な議論も必要になってくるのではないかと思う。

□山重会長

- ・審議会としてどこまで具体的に書くかという事になるが、市として決まっていなくてもあると思うので、市は答申を踏まえて検討していくことになる。審議会としては、そのプロセスとして市民の方の声を反映した計画にしていかななくてはならないと思う。全体の方向性としては、現時点における程度で良いかと思う。細かい計画については、行政に検討していただくという考え方で良いかと思っている。

□塚田委員

- ・市有施設の延床面積の6割が学校であり、学校の建て替えが集中するので、その時に複合化・集約化しようという大筋のストーリーがあると思うが、その際に出来るものと出来ないものはある程度分かってくるのではないかと思っている。また、市役所や五小などの一体についても重要であり、市民にとって気になることだと思う。p.74では少しぼやけた表現のように思えるので、もう少し検討できないかとも思っている。

□山重会長

- ・市民意見も踏まえて、最終的な答申までに検討していきたいと思う。
- ・本計画は答申がそのまま行政の計画となるのではなく、審議会が作る再編計画(案)を受けて、行政が行政計画として再編計画を策定する形になると理解している。基本的な方向性を審議会が示し、細部は行政が決めていくという中で、少しぼやけた表現で市に提示するという部分も残ってしまうかと思う。一方で、審議会でももう少し検討すべきではないかという市民意見があれば、議論を行うことになると思う。

□中原委員

- ・地域集会所などでは小規模の修繕でも荷物の移動や、施設の利用について悩むことが多い。すぐに統廃合などの議論が行われることが無いとしても、将来的な見込みや検討事項として明記しておくことは将来世代にとって必要なことではないかと思う。今書くことに様々な意見が出てくると思うが、書いておかないとその時代の人たちが困ることになってしまうのではないか。

□山重会長

- ・将来世代のためにも書けるもの、検討の可能性があるものは書いておくというものの必要であると思う。いずれの施設についても、基本的な考え方というところで記述を検討していきたい。
- ・学校の改築に際しては、学童保育所など子どもの施設とコミュニティ施設の集約化を検討するという『学校施設整備基本方針』にも沿った方向性で検討していきたい。

□杉野委員

- ・言葉の表現として段階に沿った表現に揃えた方が良いと思う。他の計画との関連で、方針的

に決まっている(実施や検討することが決まっている)ものと、検討が必要なものなど、読み手に理解してもらいやすいように整理したほうが良い。市民意見をいただいた後、その回答を考える際にも整理しておいた方が良い。

□佐々木委員

・審議会としての意見なので、「望む」など二人称の表現であってもおかしくはないと思う。

□山重会長

・その点は問題ないと思う。ただし、既に計画等において検討することが決まっていることについて、望むという表現は違和感がある。表現については、出来るだけ統一した形で見直していきたいと思う。

□山重会長

・最後にもう一度全体的な意見を頂くこととするが、議題2の市民意見募集について確認をしていきたい。事務局より概要の説明をお願いしたい。

○事務局より資料 No16-2 に基づき、実施についての説明を行う

□山重会長

・市民意見の募集期間についてだが、本日の意見を反映したものを改めて確認したうえで開始することとしたい。事務局側はどうか。

□事務局

・委員の皆様にご確認いただく期間も必要かと思うので、土日を含めた期間で設定いただければと考える。事務局から資料を郵送後、ご意見ある場合は8月12日(水)の午前中までに頂くスケジュールでご検討いただきたいと思う。

□山重会長

・では、いま事務局から提案があった通りのスケジュールで進めていきたいと思う。

□土屋委員

・市民の方はどのように素案を確認することが出来るのか。素案の入手手段を教えてください。

□事務局

・市のホームページで閲覧、もしくはダウンロードしていただくか、市民プラザ等の閲覧場所における閲覧、もしくは冊子の配布によりご確認いただけるようにする。

□山重会長

・事務局からの説明及び、市民意見の募集概要の通り、実施することとして宜しいか。

← 異議なし

・では、その通り実施することとしたい。他に全体通しての質問あれば発言をお願いしたい。

□土屋委員

・意見ではなく質問だが、総合体育館における指定管理者との連携について現状を教えてほしい。

□事務局

・建物管理だけでなく、運営面も含めて行っていただいている。市が施設を設置した目的や、その時の政策の意向を捉えながら、指定管理者として機動的に施設を管理するとともに、市民向けの事業が様々実施されている。市の補助事業と独自事業それぞれを行っており、事業計画立案に際しては、一緒に検討して行われている状況である。

■山重会長

・他に宜しいか。以上、会議を終了する。

以 上